

家庭用ゲームの『年齢別レーティング』ってなあに？



①



②



③



④



⑤

この『15才以上』というこのマークはどういう意味なんですか？



⑥



正式名称は「コンピュータエンターテインメント
レーティング機構」といいます。
ここでは家庭用ゲームソフトの映像をチェックし、
ゲームソフトに含まれる表現の度合によって
『全年齢対象』『12才以上対象』『15才以上対象』
『18才以上対象』を4つに分ける等の審査を
しています

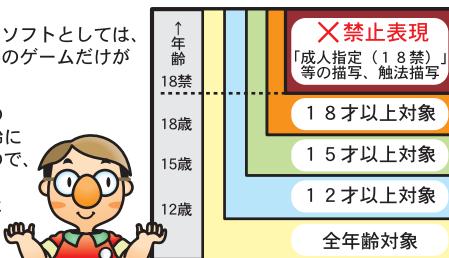


※ 正式名称は「映倫管理委員会」



もちろんすべての家庭用ゲームソフトとしては、
家庭で遊ぶのにふさわしい内容のゲームだけが
販売されています

ただやっぱり高い年齢層向けの
ソフトっていうのは、その年齢に
ふさわしい表現が入ってますので、
一番良いのは『年齢にあった
ゲームソフトを買うこと』だと
思いますね



へえ～、
そうなんですか

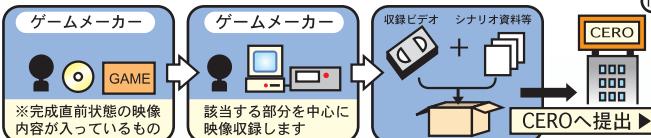


あと、この『CERO』で審査している人は、

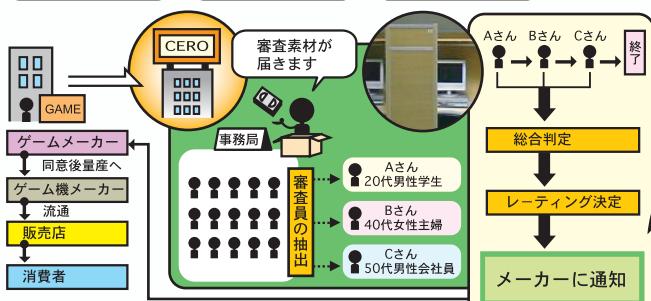
実はゲーム業界の
人ではないんです

え？ じゃあどんな人が
やっているん
ですか？

ひょっとして
大学の先生のよう
な
えらい人たちですか？

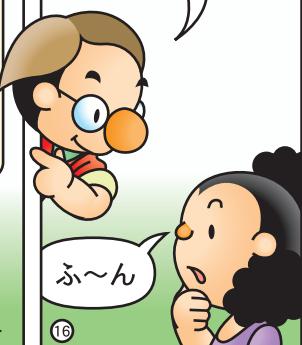


「CEROの審査員」は常勤の職員ではなく、一般の人が登録して審査の依頼が来る毎にCEROに通って審査する仕組みを取っているんですよ



違うんですけど、実は「一般人」が
審査に参加しているんです
ええ、詳しくはこんな形に
なるんですが・・・

ええ！！普通の人なんですか？



もともとゲームソフトの表現については、主にゲーム機メーカーの品質チェックやゲーム業界団体のCESAで中心に審査をしていました。ただ業界内部の審査だと中立性を保つことが難しいため、新たに審査に特化した独立組織を作ったのです。

青少年

ただ、すぐに審査を
始められるわけじゃなくて
数十時間トレーニングをしてから
審査員として登録出来るようですよ

それはいいことですね・・・
私も審査員になれるかしら？



ええ

ゲーム業界に関係ない人だったら
誰でも参加出来ると聞いていますし、
たくさん登録している人がいるって
聞いてますよ



何だかたいへんそう～



次のページで
保護者の方への
お願いがあります



保護者の方へ

現在発売されている家庭用ゲームソフトは、<社団法人コンピュータエンターテインメント協会（略称：C E S A）>主導の下、業界による自主規制が反映されております。

この業界自主規制は、家庭用ゲームソフトを表現の度合いによってどの年齢向けに適しているかを判定する「年齢別レーティング制度」で、「全年齢対象」「12才以上対象」「15才以上対象」「18才以上対象」の4段階に判定されます。判定結果は、家庭用ゲームソフトのパッケージの他、広告・テレビCMなどで掲示しています。なお「18才以上対象」許容を超える表現や、「成人指定等の描写」はレーティングを許可しておりません。

実際の審査はゲーム業界から独立した公正・中立機関<特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構（略称：C E R O）>が行っています。

またC E R Oの審査はゲーム業界の関係者は一切関与しておりません。審査は全て一般から公募された「審査員」で、社会の皆様方の代表によってレーティング判定が行われる制度を採用しております。

皆様方におかれましては、ゲーム業界の取り組みをご理解いただきたく、C E R Oの「レーティングマーク」をご確認の上お楽しみ頂きますようよろしくお願ひいたします。

